

## エリトリア便り No. 5

朝晩が寒かった1月。2月になってからは気付いたときにはコートがいらなくなり、3月になって時には日中に雨が降ったりするようになりました。確実に季節は変わってきているのを感じます。それと同時に、街中の街路樹や住宅の垣根は綺麗に花を咲かしたりしています。ここエリトリアでも“イギリス統治の足跡”ともとれるジャカラランダが街中で綺麗に咲いています。



軒先を飾るジャカラランダ

### 1. エリトリアの物価

昨年の6月に赴任をしてからいつの間にか10ヶ月をエリトリアで過ごしていました。早いものです。自炊中心の生活では頂いている現地生活費で十分やりくりをしていますが、常日頃“決して物価は安くない”と感じていたのを改めて確認してみました。

品目	現地価格	日本円換算	収入に対する相対価格
ジャガイモ	24Nkf / 1kg	¥160 / 1kg	¥1,920 / 1kg
タマネギ	18Nkf / 1kg	¥120 / 1kg	¥1,440 / 1kg
ニンジン	18Nkf / 1kg	¥120 / 1kg	¥1,440 / 1kg
トマト	18Nkf / 1kg	¥120 / 1kg	¥1,440 / 1kg
インゲン	40Nkf / 1kg	¥267 / 1kg	¥3,200 / 1kg
長ネギ	38Nkf / 1kg	¥253 / 1kg	¥3,040 / 1kg
ほうれん草	24Nkf / 1kg	¥160 / 1kg	¥1,920 / 1kg
卵	5Nkf / 1個	¥33 / 1個	¥400 / 1個
牛肉	100Nkf / 1kg	¥333 / 1kg	¥4,000 / 1kg
豚肉	160Nkf / 1kg	¥1,067 / 1kg	¥12,800 / 1kg
コーヒー豆	160Nkf / 1kg	¥1,067 / 1kg	¥12,800 / 1kg
缶ビール	110Nkf / 1缶	¥733 / 1缶	¥8,800 / 1缶
トイレットペーパー	18Nkf / 1個	¥120 / 1個	¥1,440 / 1個
歯磨き粉	75Nkf / 1個	¥500 / 1個	¥6,000 / 1個
レギュラーガソリン	38Nkf / 1L	¥253 / 1L	¥3,040 / 1L

1Nkf = ¥6.67、エリトリア人平均収入を日本の1/12として計算

単純な日本円換算でも野菜を除いて物価が高いことが判っていただけだと思います。国外から輸入している品目は、軒並み高価格です。食料品の多くは日本の援助によってまか

なわれているので、価格が嗜好品を中心とする輸入品に比べると安くなっていますが、現地の方達にとっては決して“物価が安い”とは言えません。間違いなく現地の方達よりも私の方が収入は多いのですが、“日本円換算”の所を見ていただくと判るとおり、決して楽な生活ではありません。



また、例えば缶ビール。地元のビールも希に出回ったりするのですが、材料を輸入できなくて製造停止に度々なるので、一般的にはハイネケンが出回っております。

エリトリアの方々からすると相対価格の様な印象になるはずですが、嗜好品へ手を伸ばしたくなくなるような価格です。それにも関わらず、独立からの一貫してベアゼロという給与体系の中で、歯を食いしばって頑張っている多くのエリトリア人には頭が下がります。

## 2. 事務所物品の廃棄処理

現所長の前任者が棚卸しをやっていなかったもので、過去5年以上事務所物品の棚卸しを行っていなかった当事務所。2月に所長が出張前に「陽介、コンピュータ関連だけでも棚卸しをしておいてくれ」と頼まれていたので、コンピュータ関連については棚卸しを済ませておきました。

さて、所長が出張から帰ってきて更に広範囲にというよりも、全体の棚卸しを実施することになりました。本来の担当者に昨年末に指示はしてあったのですが全く先に進んでいません。というのも当事務所の作業実施行程を見ていると、仕事の指示を出す所長を振り出しに

- 所長→秘書→担当者→雑用係兼運転手
- 所長→担当者→雑用兼運転手
- 所長→担当者→臨時雇いの作業員
- 所長→担当者→私（私は他へ振らない）

となり、担当者が自ら手を汚して作業をすることはまずありません。先日、4～5人で力を合わせて運び出せる物があったのですが、最終的には「僕らは事務員だから力仕事には向いていないよ」と言い出す始末。

手を汚す仕事はなるべく自分よりも役職が下、もしくは立場の弱い人に押しつける傾向があります。実務経験が無くても指示を出す側になりたがるので、指示の出し方はトンチ



倉庫整理中

ンカン。更に残念なことに指示を出すにしても、キチンと作業が行われたかを確認することはないので、作業の目的も知らされずに指示された雑用係・作業員は輪を掛けてトンチンカンな事をしたりします。

担当者も指示を他に出せば“後は知～らない”と言わんばかりに、残業をしている雑用係・作業員を横目に定時で帰ったりします。数日後に雑用係・作業員へ担当者の振った仕事がキチンと成されていないことを担当者に言うと“アイツがちゃんとやらないからいけないんだ！”と自分の監督怠慢を棚に上げて言う始末。

現地スタッフを頼っても話が先に進みそうにないので、結局は事務所棚卸しの下準備として倉庫の整理は、所長と私の二人で週末に出勤をして二人っきりで作業をすることになりました。倉庫整理を所長自ら行っていることを知っているにも関わらず、2週目も同僚は誰一人として所長を手伝おうとはしませんでした。現在 52 歳の所長。平日もタダでさえ忙しいのに土日に出勤をしての力仕事です。



作業開始前の倉庫



整理後の倉庫

作業開始前・作業後を比較して、どれだけ頑張ったかを確認したかったので写真に撮っておきました。所長は整理が終わった倉庫が綺麗になったのが、殊の外嬉しかったらしく、作業前後の写真を祖国ベルギーに居る奥さんへ送ったとのこと。作業完了後の倉庫を見て現地スタッフは「なんて綺麗に整理されているんだ！」と驚いていました。しかし、数日後には早速散らかり始めた倉庫。所長と私が居なくなって半年もすれば、作業開始前の倉庫に早速戻りそうです。

協力や継続性という言葉がここエリトリアでは、無為に感じる日々です。

国連人口基金エリトリア事務所  
情報ネットワークオフィサー  
瀬畑陽介